

2

「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」に基づく取組

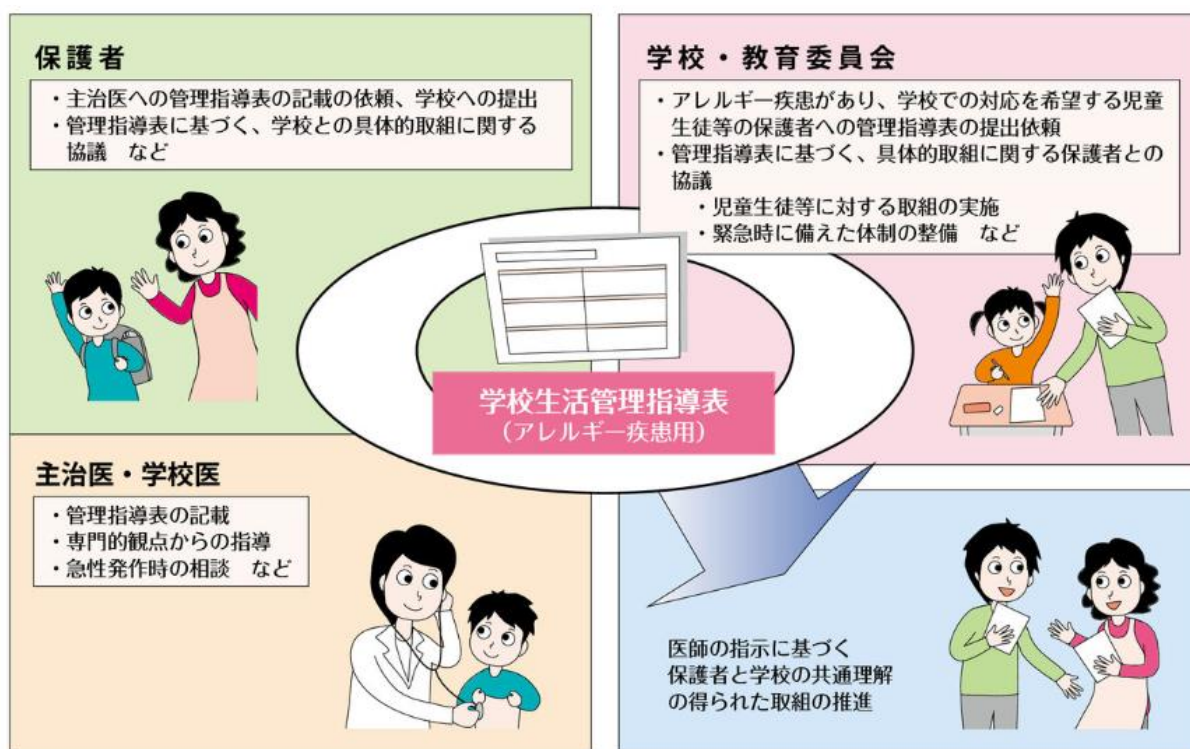
2-1 「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」とは

アレルギー疾患を有する児童生徒に対する取組を進めるためには、個々の児童生徒について症状等の特徴を正しく把握することが前提となります。

「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」（以下、管理指導表）を用いて、学校で対応が必要な児童生徒の情報を把握し、実際の取組に繋げることが大切です。

管理指導表は、アレルギー疾患を有する児童生徒に関するアレルギー疾患の情報を主治医に記載してもらい、保護者を通じて学校に提出されるものであり、そのことを保護者に理解していただくようにしましょう。

「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を用いた情報のながれ



（引用「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」財）日本学校保健会）

重要 管理指導表のポイント

- ◆学校における配慮や管理が必要であると思われる場合、学校・教育委員会は保護者に対して、主治医が記載した管理指導表を提出するよう依頼する。
- ◆アレルギー疾患を有する児童生徒が複数の診療科目を受診している場合、それぞれの主治医が管理指導表を記載したうえで、提出するよう依頼する。
- ◆症状等に変化がない場合でも配慮や管理が必要な間は、向こう1年間を通じて必要と考えられる内容を記載してもらい、毎年提出するよう依頼する。病状や治療内容や学校生活上の配慮や管理の内容に変化が生じた場合は、その都度提出してもらう。